

連載：[海外] グローバル体験

第9回 英会話力より、自分の意見を持つことが重要

理事 杉本 晴重

コミュニケーションが基本

コミュニケーションは社会活動の基本であり、グローバル社会においては特に重要であることはいうまでもない。入社5年目1974年、初めて米国勤務が決まった時、コミュニケーション=英会話力と思っていた私は、英語も得意ではなく英会話もほとんどできず、仕事、生活にかなり不安を感じていた。後日、あるアメリカ人に、「アメリカでは英語を喋れなくても生きられる。しかし、自動車を運転できないと生活できない」と言われたが、コミュニケーションはビジネスの基本である。

1970年代当時は、会社にも海外勤務者、特に技術者への語学研修はなく、上司に相談しても「現地に行けば、否応なしに上達するから心配するな」と言われる程だった。とにかく、英会話必須と信じていた私は、現地会社に赴任後も、現地自治体の外人向け夜間アダルトスクール（当時から中南米などからの移民が多く、大人向けにも無料の英語教室が用意されていた）へ通学したり、会話力の向上に努力した。上司の言葉通り、一番効果があったのは外人との仕事であったが、社内の外人はジャパニーズイングリッシュに慣れており、多少いい加減な英語でも理解してくれた。その内日本人の中にも、発音は今一なのに、外人と対等にコミュニケーションをし、堂々と仕事をする人がいる事に気が付いた。

筋道立てて分かりやすく述べる

共通点は、①相手の話を素直に聞く誠実性、②自分の意見を持ち、堂々と述べる積極性、③内容を筋道立てて分かり易く述べる論理性にあることが分かった。それが分って以来、私は発音には拘らず、とにかく、この3点に注意して仕事に臨んだ。特に、お客様へのサポート、パートナー様との交渉など外部とのコミュニケーションが増えるに従い、会議や電話だけでなく、文書によるコミュニケーションが増えて、益々、この3点の重要性を認識するようになった。

文書作成をサポートしアドバイスしてくれた秘書さんの役割も大きかった。日本語でも、会話や文章の論旨や起承転結がはっきりしない人は、コミュニケーションによる人間関係構築が難しいが、私の乏しかったコミュニケーション能力を改善できたのは、この米国生活のお蔭だと感謝している。

近年、英会話教育の義務化、拡大を言われるが、もっと重要なのはコミュニケーション能力であり、その基本にある3点に関する教育がもっと検討されるべきではないだろうか。

—以上—